

# 株主のみなさまへ

2024年12月期 中間報告書  
(2024年1月1日～2024年6月30日)

東証プライム市場 証券コード:2579

## コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社

平素より格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。上期(2024年1月1日～6月30日)の経営概況や今後の見通しなどについてご報告いたします。

### 上期の総括

上期における国内清涼飲料市場は、清涼飲料各社の価格改定による需要へのマイナス影響があったものの、人出の増加等を背景に、数量ベースで前年同期比2%程度増加したものとみられます。そのようななか、当社は、中期経営計画「Vision 2028」の初年度である2024年を「力強く利益を積み上げる年」と位置づけ、利益の最大化を軸としたトップライン成長戦略の実行や、全社横断的な変革の推進によるコスト削減、事業基盤のさらなる強化などに取り組んでまいりました。営業分野では、一連の価格改定の実施を含め、収益性重視の営業活動を徹底するとともに、最需要期である夏場の売上獲得に向け、新製品の展開や売場の拡大、マーケティング活動の強化に取り組んでまいりました。製造・物流分野では、製造キャパシティの拡大や柔軟な製造体制の構築を図るとともに、物流ネットワークの改善などに取り組む、コストの削減とサプライチェーン基盤の強化に努めてまいりました。バックオフィスおよびITの分野では、1月に事業を開始したアクセンチュア株式会社との合併会社「ネオアーク株式会社」とともに、業務プロセスの標準化や自動化を推進してまいりました。

また、このたび当社は、株式会社シンクランホールディングスおよびジェンパクト株式会社と、飲料関連の販売機器の設置、整備、修理およびQC(クオリティコントロール)等の事業における協働について合意した旨を発表いたしました。本件は、営業分野における



BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

変革施策のひとつであり、両社との強固なパートナーシップを通じてコスト削減と提供価値増大を実現することにより、将来の持続的な利益成長につなげてまいります。

上期の業績につきましては、売上収益は販売数量の成長と価格改定によるケース当たり納価の改善により、前年同期比1.8%増収の4,115億円となりました。また、事業利益はトップライン成長による利益貢献や変革を通じたコスト削減などにより、前年同期と比べ40億円改善いたしました。四半期ごとの事業利益の改善額は増加トレンドであり、良い形で1年を折り返すことができました。

### 今後の見通し

下期(2024年7月1日～12月31日)におきましても、引き続き、収益性重視の営業活動に最優先に取り組んでまいります。最需要期である夏場につきましては、これまで構築してきた成長基盤を最大限に活用し、売上および利益の最大化を図ってまいります。また、変革をさらに

代表取締役社長  
カリン・ドラガン



推進し、営業、サプライチェーンならびにバックオフィスおよびITといった主要領域において、年内の取り組み効果の発現と、来年以降の効果創出に向けた活動に注力してまいります。加えて、10月に予定している2022年以降6回目となる価格改定を成功させることにより、中長期的な利益成長に向けた、より強固な基盤を築いてまいります。

通期におきましては、これらの取り組みにより、売上収益は前年同期比1.6%増収の8,824億円、事業利益は前年同期の5倍となる100億円といった意欲的な業績目標の達成を目指すとともに、「Vision 2028」の実現に向け、大きく前進してまいります。

### 株主還元および配当について

2024年12月期の配当につきましては、基本方針である安定配当の考えに基づき、1株当たり、中間配当金を25円、期末配当金を25円(予定)とし、年間で50円を見込んでおります。今後も安定配当を継続する方針であり、株主価値増大に資する各種取り組みにつきましても、引き続き、検討を続けてまいります。

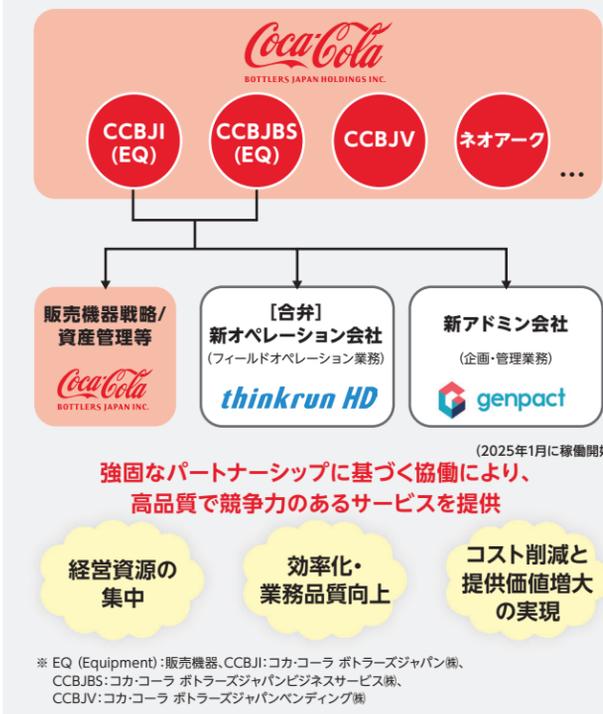
株主のみなさまにおかれましては、引き続き、当社へのご理解と長きにわたるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 連結決算ハイライト(IFRS)



(注) 事業利益は、事業の経常的な業績をはかるための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。

### 将来の効果創出に向け、販売機器サービス組織を再編



### 会社概要・株式情報 (2024年6月30日現在)

#### ■会社概要

|           |  |
|-----------|--|
| ■商号       | コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社<br>Coca-Cola Bottlers Japan Holdings Inc. |
| ■本社所在地    | 東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン・タワー  |
| ■設立       | 1960年12月20日  |
| ■資本金      | 152億3千2百万円   |
| ■連結従業員数   | 14,171名  |
| ■上場証券取引所  | 東京証券取引所 プライム市場 証券コード:2579  |
| ■発行可能株式総数 | 500,000千株  |
| ■発行済株式総数  | 206,269千株 (議決権総数:1,817,502個)   |
| ■株主数      | 67,310名 (自己株式を除く議決権を有する株主数:51,467名)                                    |
| ■1単元の株式数  | 100株   |

#### ■取締役

|                               |                                |                              |
|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 代表取締役社長<br>カリン・ドラガン           | 代表取締役副社長 CFO<br>ピヨン・イヴァル・ウルグネス | 社外取締役 独立役員<br>和田 浩子          |
| 社外取締役 独立役員<br>谷村 広和           | 社外取締役 独立役員<br>行徳 セルノ           | 社外取締役(監査等委員)<br>独立役員<br>吉岡 浩 |
| 社外取締役(監査等委員)<br>独立役員<br>濱田 奈巳 | 社外取締役(監査等委員)<br>ステイシー・アプター     | 社外取締役(監査等委員)<br>サンケット・レイ     |

#### ■株主メモ

- 事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会 毎年3月開催
- 基準日 定時株主総会:毎年12月31日  
期末配当金:毎年12月31日  
中間配当金:毎年6月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

#### ■IRサイトのご紹介

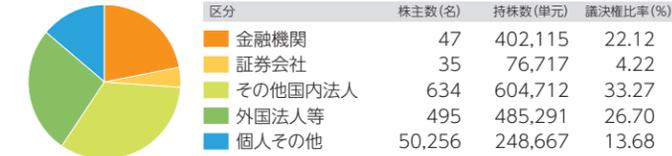
株主・投資家のみなさまへのビデオメッセージ、決算短信や有価証券報告書等の開示資料、統合報告書等のIRコミュニケーションツール、決算説明会のプレゼンテーション(資料およびウェブキャストアーカイブ)等、豊富なIR情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

詳しくは当社ウェブサイト「IR・投資家情報」をご覧ください。  
<https://www.ccbj-holdings.com/ir/>

#### ■株式の状況 (1単元:100株)

| 株主名  | 持株数(単元) | 議決権比率(%) |
|--|---------|----------|
| 大株主一覧                                      |         |          |
| 日本コカ・コーラ株式会社                               | 279,561 | 15.38    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                    | 226,476 | 12.46    |
| BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) | 77,453  | 4.26     |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)                         | 72,061  | 3.96     |
| 公益財団法人市村清新技術財団                             | 52,947  | 2.91     |
| 株式会社千秋社                                    | 40,884  | 2.25     |
| コカ・コーラ ホールディングズ・ウエストジャパン・インク               | 40,749  | 2.24     |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL                | 40,227  | 2.21     |
| 薩摩酒造株式会社                                   | 39,849  | 2.19     |
| 三菱重工機械システム株式会社                             | 39,121  | 2.15     |

#### ■所有者別状況(議決権の構成比)



(注1) 上記の「大株主一覧」および「所有者別状況」は、当社保有の自己株式237,859単元を除いて算出・表示しています。なお、当該自己株式には役員報酬DIP信託および株式付与ESOP信託が保有する当社株式は含まれておりません。(注2) ザ・コカ・コーラ・カンパニーが日本コカ・コーラ㈱およびコカ・コーラ ホールディングズ・ウエストジャパン・インク等子会社を通じて18.55%を保有しています。

#### ■公告の方法

電子公告により、当社ウェブサイトに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。当社ウェブサイト(電子公告): [https://www.ccbj-holdings.com/corporate/public\\_notice/](https://www.ccbj-holdings.com/corporate/public_notice/)

詳しくは当社ウェブサイトの「株式に関するお手続き」をご覧ください。

<https://www.ccbj-holdings.com/ir/stockholder/procedure.php>



#### ■統合報告書2023

当社のマテリアリティ(重要課題)や価値創造プロセス、持続的な成長に向けた戦略に加え、各部門の責任者からのメッセージ等を掲載しています。



詳しくはこちら



コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社  
〒107-6211 東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン・タワー

炭酸

4/8 「コカ・コーラ×MARVEL」  
～限定デザインを発売～

▶「コカ・コーラ」は世界で大人気の「MARVEL」とコラボレーションし、限定デザインの製品を期間限定で発売。また、「コカ・コーラ×MARVEL」の世界観を体験できるイベントを開催するなど、ブランド活性化を図りました。



4/8 「ファンタ グレープ」と  
「ファンタ オレンジ」をフルリニューアル

▶味わいとパッケージデザインを5年ぶりにフルリニューアルし、4月から全国で販売しています。リニューアルに合わせ、「日本初」\*となる「香り付きラベル」の展開や、さまざまなキャンペーンを実施しました。\*日本コカ・コーラ実績において



コーヒー

2/26 「ジョージア」のPETボトルコーヒーが  
リニューアル

▶香り高く、すっきりと飲みやすい味わいにリニューアル。挽きたての豆の香りと淹れたてのコーヒーの香りを追求し、香り高いコクと味わいが広がり、飲むと心が満たされるようなPETボトルコーヒーに進化しました。



3月 「コスタコーヒー」  
～主要製品リニューアル・新製品発売～

▶ヨーロッパNo.1\*のカフェブランド「コスタコーヒー」において、主要PETボトルコーヒーの3製品をリニューアル。  
▶440mlサイズの「コスタコーヒー デイ&リフレッシュ リトルスイートラテ」と「コスタコーヒー デイ&リフレッシュ カフェブラック」を新発売。



\*店舗数ベース (アレグラ社 プロジェクト カフェ ヨーロッパ 2023年)

茶系

4/15 「綾鷹」7年ぶりの大刷新

▶「旨みはしっかり本格、後味は軽やか」な“淹れたて一杯目”のおいしさを目指し、新たな味わい・デザイン・容量へリニューアル。「自分のリズムでいこう。」を新ブランドメッセージとし、新しい「綾鷹」を体験いただけるキャンペーン等を積極的に実施しています。



4/22 「やかんの濃(こい)麦茶」を発売

▶やかんで煮出したような香ばしさとすっきりした後味を、“濃い”味わいで実現。  
▶BMIが高めの方の体脂肪を減らす機能があることが報告されているローズヒップ由来のティロロサイドが含まれる機能性表示食品の麦茶です。



アルコール

4/1 待望の“糖類ゼロ”で登場  
「ジャックダニエル&コカ・コーラ ゼロシュガー」

▶糖類やカロリーを気にする方々の声にお応えし、おいしさそのままに「ジャックダニエル&コカ・コーラ ゼロシュガー」を発売。発売に合わせ“オリジナル保冷缶ホルダー”がもらえるキャンペーン等を実施しました。



5/27 “どんな食事にも合う”無糖レモンサワー  
「甘くない檸檬堂 無糖レモン」を発売

▶丸ごとすりおろしたレモン果汁をお酒につけ、まるやかな味わいにする「前割りレモン製法」と合わせ、独自開発したレモンエキスを加えることで、より食事に合う無糖の美味しさを実現。



Topics

環境関連

水平リサイクル「ボトルtoボトル」の取り組み

当社は使用済みPETボトルを回収し、新たなPETボトルとして再生する「ボトルtoボトル」の枠組みを構築しており、さまざまな地域社会やパートナー企業のみならずと連携し、この「ボトルtoボトル」を推進しています。

- ✓ 日本コカ・コーラ、レゴランド®、ジャパン・リゾート、ダスキンとの協働
- ✓ サンフレッチェ広島の新ホームスタジアム「エディオンピースウイング広島」での取り組み



アルミ缶の水平リサイクル  
「CAN to CAN」の取り組みも進めています！

当社は「CAN to CAN」の取り組みも進めており、100%リサイクルアルミ素材を使用した製品を展開しています。これにより、国内におけるアルミ缶の循環利用の促進とCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献しています。

人関連

「Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数(除くREIT)」の構成銘柄に選定

当社は、当指数において最高位である「グループ1」として選定されました。「ジェンダー」や「ダイバーシティ」等に重点が置かれたESG投資指数であり、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)に採用されています。当社はビジネスを支える「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン」を重視しており、さまざまな取り組みを推進しています。



CDPの「気候変動」「水セキュリティ」の両分野で最高評価の「Aリスト」に選定

国際的な非営利団体CDPが実施した2023年度の企業のサステナビリティ調査において、「気候変動」および「水セキュリティ」の両分野で最高評価の「Aリスト」企業に選定されました。



ESG投資指数「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」それぞれの構成銘柄に選定

これらの指数は、グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、ESG(環境・社会・ガバナンス)について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。当社は「FTSE Blossom Japan Index」には初めての採用となりました。



製造工場のユニフォームをリニューアル!

当社工場勤務メンバーによるプロジェクトチームが「みんなの声を形に! みんなで作る新ユニフォーム」をテーマに検討を重ね、新しいユニフォームが誕生しました。社員の多様性を尊重し、男女同一デザインにするとともに、女性活躍推進の一環として、新たにマタニティユニフォームも導入しました。機能面では、伸縮性・通気性に優れた生地を採用することにより、快適性を向上させました。当社は働きやすい会社の実現を目指し、さまざまな改善活動に取り組んでいます。



Topics

自動販売機関連

15種類以上のQRコード決済が可能な「QR de 決済」サービスの展開

QRコード決済の利用拡大や訪日観光客の増加等による需要増加の機会を獲得すべく、自動販売機における決済手段拡大の一環として、「QR de 決済」を展開しています。キャッシュレスニーズの高い場所を中心に、2024年内に約20万台の自動販売機でのサービス展開を目指しています。



\*QRコードは、街デンソーウェブの登録商標です。

News Calendar

- 1月 ▶ アクセンチュアとの合弁会社「ネオアーク」を設立  
▶ 京都府綾部市と「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定」を締結  
▶ 愛知県東浦町と「ペットボトル資源循環リサイクルに関する事業連携協定」を締結  
▶ 「よさこい祭り支援自販機」の展開を開始  
▶ 福岡県筑紫野市、福岡県小郡市および佐賀県基山町と「ペットボトル資源循環リサイクルに関する事業連携協定」を締結
- 2月 ▶ 仙南地域広域行政事務組合・仙南圏域市町と「ペットボトル資源循環リサイクルに関する事業連携協定」を締結  
▶ CDPの「気候変動」「水セキュリティ」の両分野で最高評価の「Aリスト」に選定  
▶ 一部の小型パッケージ製品等の価格改定を発表(2024年5月1日出荷分より実施)  
▶ ファミリーマートと物流面で協業開始  
▶ 「Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数(除くREIT)」の構成銘柄に選定  
▶ 城南衛生管理組合(京都府)と「持続可能な資源循環型社会の形成推進に関する協定」を締結
- 3月 ▶ CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に2年連続で選定  
▶ ファミリーマートと地域交流を生み出す「ファミマこども食堂」を初共同開催  
▶ 「コカ・コーラ ボトラーズジャパン 水源の森えびの」が環境省「自然共生サイト」に認定  
▶ ハタラクエールにおいて最高位「優良福利厚生法人(総合)」を受賞
- 4月 ▶ 「ジャックダニエル&コカ・コーラ ゼロシュガー」を発売  
▶ 「DE&サポート自販機」の展開を開始

コカ・コーラ公式アプリ「Coke ON」®を通じて  
魅力的な購買体験を提供

「Coke ON」は、スタンプをためると対応の自動販売機で利用可能な無料ドリンクチケットを獲得できる、お得で便利なスマートフォンアプリです。「Coke ON」を通じて、コカ・コーラオリジナルのキャンペーンやさまざまなタイアップキャンペーンを実施するなど、自動販売機の魅力を向上させるべく、サービスの充実を図っています。



スマホで検索! コークオン | こちらから「Coke ON」をダウンロードいただけます

\*「Coke ON」は、The Coca-Cola Companyの登録商標です。

- 4月 ▶ 「コカ・コーラ×MARVEL:ザ・ヒーローズ」限定デザインを発売  
▶ 「東京レインボープライド2024」に協賛・ブース出展  
▶ 7年ぶりに大刷新した「綾鷹」を発売  
▶ 「やかんの濃麦茶 from 爽健美茶」を発売

- 5月 ▶ 全国のコカ・コーラ ボトラー5社、法人向け健康経営支援プログラム「ウェルネスプログラム」の全国展開を開始  
▶ 「2024世界トリアスロン横浜大会」で「ボトルtoボトル」に向けた取り組みを実施  
▶ 「女性が活躍する会社BEST100」において業種別(食料品)1位に選出  
▶ PETボトル製品等の価格改定を発表(2024年10月1日出荷分より実施)  
▶ 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本とプレミアスポンサー契約を締結  
▶ 香川県内のトクホ製品および機能性表示食品の売上の一部を香川県へ寄付  
▶ 「甘くない檸檬堂 無糖レモン」を発売  
▶ 「大阪府島浜タワー」で回収した使用済みPETボトルの「ボトルtoボトル」を開始  
▶ GTアソシエーション、コカ・コーラ ボトラーズジャパン、協栄&T環境、協栄産業が協働し、「SUPER GT」で「ボトルtoボトル」に向けた取り組みを開始

- 6月 ▶ 「コカ・コーラ ゼロ ピーチ」を発売  
▶ 「コカ・コーラ™ Coke STUDIO キャンペーン パッケージ」を発売  
▶ コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングスグループのダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン ロゴマークとステートメントを策定  
▶ 災害時の飲料提供、充電環境の整備を目的に非常用電源ボックスと急速充電ベンチを「プレミアム・アウトレット」に展開  
▶ コカ・コーラレッドスパークスホッケー部6名の選手がパリ2024オリンピック ホッケー女子日本代表メンバーに内定

ニュースカレンダーの | 詳細はこちら

